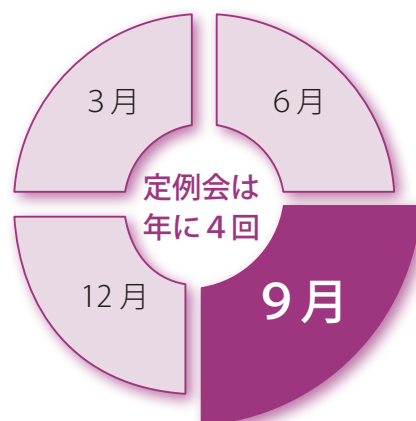




作品タイトル「動かないで。」

作者／村口 奈那弥さん(青森県立大湊高等学校 2年生 美術部)



令和3年度決算	…… P 2
第253回(9月)定例会議案審議	…… P 4
常任委員会活動報告	…… P 6
一般質問	…… P 7
審議結果および賛否一覧	…… P10
使用済燃料中間貯蔵施設に 関する調査検討特別委員会	…… P11
要望活動報告	…… P11
お知らせ	…… P12

令和3年度むつ市一般会計歳入歳出決算ほか 各会計決算議案を可決・認定!

令和3年度の一般会計・特別会計・水道事業会計・下水道事業会計の各決算等を審査する決算審査特別委員会（議長及び議会選出の監査委員を除く全議員20名で構成）が設置され、9月8日、9日及び12日に開催されました。

審査結果は、一般会計歳入歳出決算及び介護保険特別会計歳入歳出決算について、それぞれ委員1名より反対討論がありましたが、賛成多数で認定すべきものと決定し、ほかの特別会計歳入歳出決算等については、全会一致で可決・認定すべきものと決定いたしました。

◎一般会計歳入歳出決算

歳入	433億9,165万2,047円
歳出	426億2,569万8,888円
差引	7億6,595万3,159円

※翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた
実質収支（黒字）額は、6億8,277万5,819円

◎むつ市健全化判断比率

実質公債費比率	15.0 (25.0) %
※昨年度決算	15.4 (25.0) %
将来負担比率	122.3 (350.0) %
※昨年度決算	144.7 (350.0) %

※()内の数字は、むつ市の早期健全化基準を示す
※実質公債費比率：その年に負担すべき借入金の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で表したものを
※将来負担比率：借入金も含めた負債全体の大きさを、財政規模に対する割合で表したものを

決算審査特別委員会

付託議案の主な質疑

◎一般会計歳入歳出決算

○歳出について

総務費（企画費）

問 シイライン株式会社への株主としての責任と保有している株式について。

答 令和4年5月に開催された株主総会では、ポラスターの運航廃止について決定しているが、今後の会社の運営についての話はなかった。現在、運航廃止に向けた事務レベルの協議は続けている。当然、一株主としての責任はあるかと考えており、ご相談があれば市として適切に検討し、対応してまいりたい。

問 地域おこし協力隊員の採用状況と具体的な活動内容はどうであったのか。

答 令和3年度は7月より1人を採用し、2人目の採用には至らなかったが、本年度に入り、4月に1人、7月に1人採用し、現在3人で川内及び脇野沢地区で活動している。令和3年度の

主な活動実績は、鯛島・マリンドリークの清掃活動、小学生や幼稚園児を対象とした体験活動、ミニ盆栽作り、冬場のスノーシュー体験、イベント等の様々な事業を行って



総務費（原子力広報調査費）

問 コロナ禍での原子力施設等の見学会の状況について。

答 県外に関する見学会は、ほとんど中止で、県内に関しては、市内の高校生を対象とした、六ヶ所原子力燃料サイクル施設見学会に22名、大間原子力発電所建設現場見学会に76名、計98名の見学会を実施している。

総務費（人事管理費）

問 職員のメンタルヘルス相談窓口は常時利用できる状況にあるのか。

答 相談窓口は、常時開設しているわけではなく、委託先の事業者から相談員の方に来ていただき、その時に利用していただ



くこととなる。

問 民生費(老人福祉総務費)

見守りローテ電球整備事業について、当初の想定と比較して、どのように評価しているのか。

答 当初の目標数としては100個を予定していた。支給に関しては、広報むつ等へ2回掲載し、シルバー人材センターの会員向けの広報誌への発送に合わせチラシ等を同封したほか、民生委員の定例会や、介護予防事業等で事業の周知をしたが、結果35件の利用となっている。

問 市民後見人養成講座の修了者13人のうち登録者が7人である理由について。

答 講座の申込者が17人で、そのうち13人の方が講座を修了しているが、受講していく中で、市民後見人として活動していく気持ちで固まった7人の方に登録していただいていたこととなる。



問 農林水産業費(農業委員会費)

農地法に係る申請に基づく現地調査の内容について。

答 これは農地法第30条による通称、農地パトロールを2か月から3か月の期間を設けて、農業委員と推進員で現地調査を行い、毎年農地台帳の整理をしている。

問 農林水産業費(農業振興費)

農業次世代人材投資事業のこれまでの実績等について。

答 令和3年度の交付実績は8農家で1950万円、これまでの交付実績は、平成24年に事業を開始しているが、17農家で約1億2500万円となっている。その資金を受けた方は、現在も農業を続けていると伺っている。

問 農林水産業費(水産振興費)

ホタテガイ養殖残渣除塩乾燥ヤード整備事業費の補助金が半額となった経緯について。

答 交付要綱に基づき、半額の補助としている。

問 むつ市マリンハウス脇野沢の建物の管理は今後どのようにしていくのか。

答 令和4年度から休止し、指定

管理も行っていないが、建物が古くなっていることから、維持管理に留意しながら、廃止に向けて検討を進めていかなければならないと考えている。

問 農林水産業費(災害対策費)

木野部漁港海岸の流木等処理対策事業の処理状況について。

答 木野部漁港海岸の流木は、昨年度に回収を終え、大畑町河川敷の市の土地に堆積している。また、先日撤去及び処分工事契約を締結している。

問 商工費(商工振興費)

令和3年度に市内で新型コロナウイルス感染症の影響等を含め、事業停止した事業者のうち、個人事業主をどの程度把握しているのか。

答 市内における倒産や廃業の件数については、商工会議所を通じて調査をしているが、会員企業以外については把握しきれないところもある。特に個人事業主の方の詳細まで掴みきれないところもあるが、コロナ禍による事業主への影響等はかなり大きいものと承知している。

問 商工費(観光費)

北の防人大湊安渡館内のレス

トランの現状について。

答 令和3年10月17日をもって営業を終了しており、それ以降レストランは休館となっている。

問 商工費(消費者行政推進費)

むつ市消費生活センターにおける相談件数、被害金額等は。

答 年間の相談件数は476件であり、被害金額については、その相談の中で実害があったということでは承知していない。

問 土木費(土木維持費)

街路灯LED化事業の進捗状況について。

答 平成28年に市が管理する街路灯を全てLEDに交換しており、その後は町内会からの要望により、LEDの街路灯を毎年度約30灯新設している。

問 私道等整備補助金について、何件申請があり、そのうち、大畑、川内、脇野沢地区は何件あるのか。

答 令和3年度の問い合わせ件数は8件で、そのうち4件が申請となり、その4件は全てむつ地区からの申請となっている。



土木費（道路新設改良費）

問 浜通線融雪溝整備事業の進捗状況について。

答 令和3年度は、自衛隊川守宿舎付近から中央公民館方向に融雪溝整備と送水管布設を550m整備しており、事業費ベースの進捗率は25・6%となっている。

教育費（小学校管理費）

問 工事請負費の不用額2961万2204円の詳細について。

答 令和2年度から繰越しとなった苦生小学校の空調改修工事の入札による執行残により不用額として残ったものである。

教育費（文化振興費）

問 二枚橋2遺跡出土品保存修理事業の出土品の状況について。

答 平成24年9月に国の重要文化財の指定を受けた二枚橋2遺跡出土品の1308点のうち320点の修復が必要であり、令和2年度までに136点を修復し、令和3年度は台付鉢1点、石刀5点、石製玉25点の修復と一括保存台2点を作製した。

災害復旧費

問 災害復旧事業に、例えば3年

かかるとしたら、3年で計画という考え方があるかと思うが、災害復旧費は単年という考え方でよろしいか。

答 今回の災害復旧事業は単年で施行可能だと考えている。ただし、工事の資材調達に時間がかかるということ、繰越ししているが、令和4年度で全て完了する見込みである。

問 災害復旧費の繰越明許費の財源の内訳は。

答 災害復旧事業の繰越しに係る財源については、国県支出金で約1億1000万円、地方債で5750万円を充てており、全額繰越しということになる。

◎歳入について

市税

問 コロナ禍で市税にどのような影響を受けたか。

答 国や地方自治体の経済政策により、税収にはそれほど影響がなかったと考えている。

その他

問 原子力関連交付金の総額は。

答 電源立地地域対策交付金が16億4260万3000円、青森県核燃料物質等取扱税交付金が3億1663万5000円、

原子力立地地域基盤整備支援事業交付金が3億6500万円、総額は23億2423万8000円となる。

◎後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

問 令和3年度予算審査時に保険料が1人当たり4636円の増となり、8920人が影響を受ける見込みであると答弁されているが実際はどうだったか。

答 保険料の調停額で1人当たり約500円の増となっている。

◎介護保険特別会計歳入歳出決算

問 令和3年度予算審査時に保険料の改定による影響を受ける人数が1万8855人の見込みで、影響額が当初予算比で5544万4000円の見込みであるとのことだったがどうだったか。

答 対象の令和3年4月1日現在の第1号被保険者数については、当初予算比で119名、0・6%減の1万8736人で、影響額は、当初予算比で28万6160円、0・5%増の5573万160円となっている。

第253回定例会

令和4年8月23日～9月16日

むつ市議会第253回定例会が去る8月23日から9月16日までの25日間の会期で開かれました。

今定例会には、18議案4報告が上程され、審議の結果、それぞれ可決・認定・承認・報告されました。

議案審議での主な質疑

【議案第42号】むつ市総合経営計画の基本構想の変更について

問 前期基本計画と大きく異なる点は何か。

答 新型コロナウイルス感染症の拡大により、日常的な感染対策、経済活動、働き方や教育等、人々の暮らしは、さまざまな制限や制約を受け、計画策定当初は想定できなかった変化が急激に起こった。一方で、デジタル化の動きは加速し、これからの地方創生は、地域の個性を生かしながら持続可能な経済社会の形成と、誰一人取り残さない全ての方がデジタル化のメリットを享受できる暮らしを実現することが重要である。

問 前期基本方針の各分野で定め

2億8000万円、地方消費税交付金で約1億6000万円、普通交付税で約9億6000万円増加しており、企業収益の増加や国内消費の回復が大きな要因となっている。

歳出では、事務事業の見直し等経常経費の圧縮をベースに減収を見込んだ歳入総額に合わせた予算編成ができたこと、適切な予算執行に努めた成果と認識している。

問 令和3年度はこれまでも増して激動の1年であったと思うが、工夫した点、反省点について伺う。

答 コロナ禍における地域のイベントの中止や縮小を余儀なくされる中、子育て世代や非課税世帯に対する臨時特別給付金事業、新型コロナウイルス感染症に伴うワクチン接種事業、事業の継続と雇用の維持、失業対策等の経済影響対策事業、豪雨災害に伴う復旧と復興等に要する経費を計上するため、23回もの補正予算を編成し、職員が丸となり、迅速かつ的確に、そして効果的に事業を実施してきた。

常任委員会

付託議案の主な質疑 【総務教育常任委員会】

○9月8日付託議案審査

付託された2議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第41号 財産の取得について
(GIGAスクール端末等)

問 今回の配備の対象となる学年について。

答 今回の整備は小学校2学年分であり、このほか各小学校のパソコン室に配備されているタブレットパソコンを小学校1学年に配備することで全学年において1人1台のタブレットパソコンが整備されることとなる。

問 納入期限を令和5年1月31日とした理由及びタブレットパソコンの持ち帰りとオンライン授業の実施状況について。

答 学校側と協議の結果、端末設定及び充電保管庫の収納等の作業が必要となることから、

ら、冬期休業期間に当該作業を行うため、納入期限を令和5年1月31日までとした。また、タブレットパソコンの持ち帰り及びオンライン授業の実施状況については、夏期休業期間明けより全小中学校で実施体制が整ったところであるが、学校及び学年ごとに実施状況が異なることから、今後、状況を確認しながら対応していく。

【産業建設常任委員会】

○付託議案審査

付託された議案はありませんでした。



市道古川線 (脇野沢地区)



市道九艘泊源藤城線 (脇野沢地区)

○所管事務調査

・令和4年8月の大雨災害に係る公共土木施設及び農林水産業の被害状況について

【民生福祉常任委員会】

○9月8日付託議案審査

付託された1議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

○所管事務調査

・未就学児に係る待機児童の推移と対策・支援について
・保育士に係る待遇の現状について

ここが聞きたい！

一般質問

一般質問のページは



こちらから↑

議会ホームページでは、

紹介できなかった質問内容を公開しています

市民の要望を市政に反映させるための一般質問。各種の行政課題を取り上げて3日間にわたり11人の議員が活発な論戦を展開しました。



公明・自由
鎌田ちよ子

問 これからの市営墓地の在り方について。

答 墓地公園は、2041区画が整備され、1901区画が購入済みである。墓石が建立されている区画は、約1310区画であり、来年度は126区画が供用開始予定である。合葬墓については、昨年実施のアンケート調査結果を踏まえ、中・長期的な調査、研究が必要と考えている。

問 自動体外式除細動器（AED）に三角巾を設置し、女性のプライバシーを保護する事について。

答 AEDは、市が所有する93の公共施設で、56の施設に68台が設置されている。準備が整い次第、利用者が多い施設から三角巾を配備する。
コロナ禍前と比べて、救命講習の実施回数は約半数であり、受講者は約3分の1に減少している。



未来への轍
村中 浩明

問 補助犬の現状と支援について。

答 青森県の現状としては、令和4年4月1日現在における補助犬の頭数は6頭で、全てが盲動犬となっている。むつ市内にも利用されている方がおり、市としては、必要に応じて補助犬が果たす役割の重要性についての理解が深まり、補助犬ユーザーの方が安心して日常生活をおくることができるよう環境づくりに努めていく。補助犬ユーザーに対する負担の軽減については現在、検討している。

問 ふるさと納税について。

答 令和3年度の寄附件数と寄附金額は、1万1487件で2億420万9395円となっている。これに加えて、令和3年度は、8月にむつ下北地域を襲った豪雨災害に対する当市への災害支援を受け付けたほか、風間浦村への災害支援に対する代理受納を実施した。



未来への轍
原田 敏匡

問 地域経済の活性化を推進する、デジタル地域通貨を導入する考えはないか。

答 デジタル地域通貨はスマートフォン構想の1つのコンテンツとなるものであり、地域内の経済循環を高めるとともに、地域商品券のデジタル化や各種ポイントサービスの統一による利便性の向上が可能であるほか、地域のボランティア活動等に対してもデジタルポイントを付与してコミュニケーションの活性化を図るなど、多様な活用が可能なツールであると認識している。
現在、経済団体や、福祉・健康保健団体、学術機関等で構成する「むつ市スマートシティ推進協議会」等において、他自治体の先行事例を参考に、デジタル地域通貨の導入に向けた検討を進めており、来年度中の運用を目指している。



市誠クラブ
東健而

問 川内地区の国道及び市道の
大雨冠水被害対策について。

答 大雨により川内町仲崎地区で発生した道路冠水については、周辺から大量の雨水が急激に道路側溝に流入したため、国道排水路の一部が閉塞し発生したもので、堆積物の除去により解消している。

今回の冠水は日常的に起きるものではなく、道路側溝に問題は無いものと判断されることから、現時点での見直し等は行う予定はないが、今後においても適切な維持管理に努めて参りたい。

問 国や県との道路管理と連携
について伺う。

答 これまでも常に情報を共有し、両者連携して道路の安全確保に努めている。



無党派
杉浦弘樹

問 北限のニホンザルによる被害状況と生息状況について。

答 令和3年度の農作物被害は、市全体で45件25万8948円となっており、地区別では、むつ地区2件1万9237円、川内地区3件2万1277円、大畑地区13件6万7932円、脇野沢地区27件15万502円となっている。

令和2年度と比較して、市全体では被害件数が3件、被害額が32万3000円ほど減少しているが、脇野沢地区においては件数、金額ともに増加している。

生息状況は、市全域に33群1363頭の生息が確認されている。

問 大畑地区外山団地の今後の整備計画について。

答 外山団地の整備については、むつ市公営住宅等長寿命化計画に基づいて、当面は必要な修繕を施しながら、適切な維持管理に努めることとしている。



市誠クラブ
佐賀英生

問 国道279号バイパスの進捗状況と、今後のスケジュールについて。

答 国道279号バイパス整備については、かねてから下北地域の市町村長及び議会議長で構成する、下北総合開発期成同盟会において、国家プロジェクトの安定的推進のみならず、避難道及び物資輸送道として重要路線であるため、整備促進を事業主体の青森県に強く要望してきた。

平成30年度は、風間浦村易国間から大畑町の区間約16kmについて、優先的に整備する方針を打ち出し、令和2年12月より木野部工区として2.2km整備着手している。昨年8月に発生した「むつ市・風間浦村豪雨災害」を契機に、木野部工区以外の約14kmについても加速するため、合意形成を図るための地域懇談会を、令和5年までに計3回開催されると聞いている。



自民クラブ
浅利竹二郎

問 直ちに下水道事業を中断して合併処理浄化槽へ転換すべきと考えるが、市長の所見を伺う。

答 基本的に下水道整備というのは財政的な負担がかかるので、これをすぐにでもやめた方がよく、合併処理浄化槽を推進すべきだ、という話だと思つ。

むつ市において、延々と下水道整備を続けることが、特に旧むつ地区の市街化の状況から見て、財政にとって大きな負担になることは明らかである。

計画的にこれを終了していくことが必要だと認識しており、今年度中に上下水道局と検討を重ねて、整備計画の縮小と合わせて、事業終了の目的をしっかりと作っていきたい。



自民クラブ
濱田 栄子

問 SDGs（持続可能な目標）と一次産業振興について問う。

答 森林育成と林業振興については、下北地方森林管理署からは「下北国有林の地域別の森林計画」策定時等に意見を求められている。今後も様々な機会を捉えて林業振興に関する意見交換を図っていく。

生態系の循環と保全による沿岸漁業振興については、津軽海峡側の天然魚の漁獲量は、平成29年以降スルメイカの漁獲量激減などにより、平均1300トン弱に減少しており、資源回復は喫緊の課題である。昨年、青森県が主体となり大畑町佐助川沖と正津川沖に、産卵や稚魚の生息場所となる藻場の整備をしている。今後も要望していく。

問 スマート農業を導入する地元農業者への支援について。

答 本年7月「スマート農業推進条例」を制定し、担い手確保や規模拡大を図っていく。



未来への轍
岡崎 健吾

問 マイナンバーカードの取得率向上について。

答 より市民の皆様身近な場所での申請サポートを実施するため、町内会や市内企業へ個別出張を計画している。

また、依頼があれば指定された場所へ出向いて、申請サポートを実施する。

問 郷土の偉人教育と郷土愛について。

答 教育委員会では、郷土学習は児童生徒が自分たちの暮らす地域を深く知り、郷土愛を醸成するために非常に有効であると考えている。

また、総合的な学習の時間における下北ジオパークなど地域資源を活用した学習活動を通して、郷土に誇りと愛着を持たせられるよう指導している。



無党派
工藤 祥子

問 デジタル防災行政無線の未配備予定地域での住民説明会の受け止めについて。

答 説明会では、土砂災害等を懸念して、防災行政無線がなくなることや、これまで防災以外の行政情報等も流れていたことから、市からの情報が届かなくなることに對する不安の声等があった。市としては、5つの情報伝達手段を柱として、災害の特性に応じて必要な情報を伝えていく。また集会等に出向き、防災力向上を図る出前講座を通じた啓発活動等を実施していきたい。

問 市が目指す「信頼の力を軸とした行政経営」と地区会等との連携について。

答 市民協働のまちづくりを推進していく上で、身近な地区会等は市にとっても、大変重要なパートナーである。コロナ禍でやむなく中止した事業もあるが、今後も市民の声に耳を傾け、行政運営を進めていく。



無党派
佐藤 武

問 循環型社会をどのように推進してきたか。

答 自宅での生ごみ堆肥化を進める講習会や資材提供、公共施設やフリーマーケット等での小型家電回収、廃インクカートリッジ回収、町内会等による資源ごみの集団回収、廃油回収をしている。

また、民間では市内スーパーなどでの資源ごみ店頭回収、事業系の動植物性残渣の堆肥化の取組や古紙回収などが行われている。

市内山林から伐り出され低質材を市内業者が木質チップにして市外のバイオオマス発電等の燃料等として使用されている。家畜の排泄物については、市内の畜産業において全量を堆肥の原料として使用している。下水道汚泥は、委託業者が堆肥化し、し尿処理の脱水汚泥は助燃剤化された後、熔融スラグに再資源化されているようである。

第253回定例会審議結果・賛否一覧表

【全会一致で可決・認定・承認した議案等】

※『報』→報告

議案	議案の名称	議決結果
40	むつ市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
41	財産の取得について (GIGAスクール端末等)	可決
42	むつ市総合経営計画の基本構想の変更について	可決
43	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて(近原芳栄氏)	可決
44	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて(工藤幹雄氏)	可決
45	令和4年度むつ市一般会計補正予算	可決
46	令和4年度むつ市介護保険特別会計補正予算	可決
48	令和3年度むつ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	可決
49	令和3年度むつ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	可決
50	令和3年度むつ市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算	認定

議案	議案の名称	議決結果
52	令和3年度むつ市魚市場事業特別会計歳入歳出決算	認定
53	令和3年度むつ市水道事業会計利益剰余金の処分について	可決
54	令和3年度むつ市水道事業会計決算	認定
55	令和3年度むつ市下水道事業会計利益剰余金の処分について	可決
56	令和3年度むつ市下水道事業会計決算	認定
57	令和4年度むつ市一般会計補正予算	可決
報28	令和3年度むつ市一般会計継続費精算報告書	報告のみ
報29	令和3年度むつ市健全化判断比率について	報告のみ
報30	令和3年度むつ市公営企業会計資金不足比率について	報告のみ
報31	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(令和4年度むつ市一般会計補正予算)	承認

【賛否が分かれた議案】

議案	議案の名称	議決結果	新風むつ			市誠クラブ			自民クラブ			未来への軌				公明・自由			会派員						
			齊藤孝昭	山本留義	富岡幸夫	佐賀英生	東健而	野中貴健	浅利竹一郎	佐々木肇	大瀧次男	濱田栄子	佐藤広政	原田敏匡	岡崎健吾	佐々木隆徳	富岡直哉	村中浩明	鎌田ちよ子	白井二郎	住吉年広	佐藤祥武	工藤祥子	杉浦弘樹	
47	令和3年度むつ市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	令和3年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議決日は議会最終日の9月16日(ただし、議案第42～45号・57号、報告第28・31号は9月8日に議決)

※○は賛成、●は反対、『欠』は欠席または採決の際に不在の者、『退』は退席、『除』は除斥、議長(大瀧次男)は採決に加わらない

★なお、各議員の会議への出欠状況についてはむつ市議会ホームページに掲載しています →→→



一般質問の音声データを掲載しています。

むつ市議会では、本会議場での一般質問のようすを多くの皆さんに聴いていただくために、音声データをホームページに掲載しています。

掲載期間は、一般質問が行われた日から、会議録が掲載されるまでの間となりますので、議会傍聴の時間がないときなどにご利用ください。

※音声再生のデータ通信料は自己負担となります。

一般質問のページ



使用済燃料中間貯蔵施設に 関する調査検討特別委員会

第9回審査が9月16日に開催されました。

○審査の概要

使用済燃料税の総務大臣同意を得られたことから、これまでの総務省との協議の経緯について報告を受け、質疑応答を行いました。

○主な質疑

問 特定納税義務者の同意を得ていない状況で、総務大臣が同意するに至ったポイントはどこにあったと認識しているか。

答 地方税法の規定に合致した税制であるというところが評価されたと認識している。地方税法で定める大臣の同意の条件は複数あるが、その中で最も重要なものは、「過重負担とならない」という要件になると考えている。この要件に関して、当市の課税が先行の団体の水準と比較して、著しく重い負担となっていないことや、この点について様々なシミュレーションを根拠として説明した点、またもう1点、特定納税義務者の方から担

税力が不明という点もあったが、役務契約関係をもとに実質の負担者である親会社の財務構造、または経営状況により、決して過重とはならないと主張していた点が、正當に評価されたと認識している。

問 いつから課税が開始できると見込んでいるか。

答 使用済燃料中間貯蔵施設は現状、来年度(2023年度)の事業開始が見込まれており、その事業開始の前には最終の検査を経ることとなっている。その最終の検査の時点で1基目の使用済燃料が搬入されることになるため、その時点から課税することになる。最短では2023年4月を見込んでいる。

問 新税検討プロジェクトチームは解散となるのか。

答 任務は100%達成したのので、本日をもって解散する。今後の事業者への対応は税務課に担当職員を置き、これまでと同様にコミュニケーションを取りながら丁寧に対応していく。

要望活動の報告

大瀧次男議長を団長とする8名の議員団により、令和4年7月26日から28日までの日程で、次のとおり要望活動を行いました。

要望項目 『下北半島縦貫道路の整備促進について』
要望先 国土交通省、東北地方整備局、青森県選出の国会議員



木村次郎国土交通大臣政務官(当時)への要望活動

要望項目 『海上自衛隊大湊基地港内等の浚渫及び大型艦艇の配備について』
要望先 防衛省、東北防衛局、青森県選出の国会議員



鬼木誠防衛副大臣(当時)への要望活動

議員と話してみませんか？



第8回むつ市議会 議会報告会及び市民との意見交換会

むつ来さい館 11月4日(金) 16:30~
【担当議員】佐々木 肇 佐藤 武 村中 浩明 原田 敏匡 住吉 年広

脇野沢地域交流センター 11月4日(金) 16:30~
【担当議員】佐々木 隆徳 富岡 幸夫 斉藤 孝昭 杉浦 弘樹

川内公民館 11月5日(土) 10:30~
【担当議員】東 健而 工藤 祥子 岡崎 健吾 原田 敏匡 富岡 直哉

ふれあいかん (総合福祉センター) 11月5日(土) 10:30~
【担当議員】白井 二郎 佐賀 英生 住吉 年広 濱田 栄子 野中 貴健

中央公民館 11月5日(土) 14:30~
【担当議員】浅利 竹二郎 山本 留義 鎌田 ちよ子 佐藤 広政 富岡 直哉

◆ 申込みは不要ですが、参加者多数の場合は制限する場合があります。
◆ 新型コロナウイルス感染症の状況により、延期・中止する場合があります。
◆ (延期・中止となった場合は、むつ市議会ホームページ等でお知らせいたします。)
◆ 当日風邪の症状がある場合や体調が優れない場合は参加を「遠慮ください」。

【お問い合わせ】むつ市議会事務局 TEL:0175-22-1111 (内線 3612)

次回定例会の予定 11月29日(火)~12月22日(木)

日	月	火	水	木	金	土
11 / 27	28	29 議会運営委員会 本会議(開会日) 常任委員会	30 議会運営委員会 議案熟考	12 / 1 議案熟考	2 議案熟考	3
4	5 議案熟考	6 議案熟考	7 本会議(一般質問)	8 本会議(一般質問)	9 本会議(一般質問)	10
11	12 本会議(一般質問)	13 本会議 常任委員会	14 常任委員会	15 議事整理	16 議事整理	17
18	19 議事整理	20 議事整理	21 議事整理	22 議会運営委員会 本会議(閉会日)	23	24

編集後記

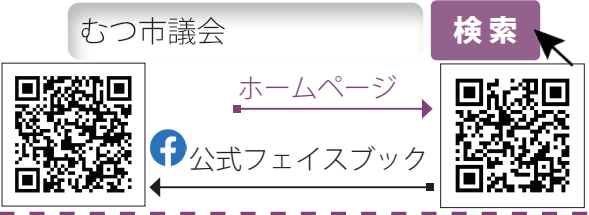
昨年引き続き今年の8月も、川内・脇野沢地区を中心に大雨災害に見舞われた「むつ市」。幸いにも大きな被害にならなかったことに安堵。昨年の経験を活かした市の迅速な対応は、まさしくこれぞ「むつ市」です。

そしてその災害に負けじと、威風堂々と大湊ネブタや田名部祭りなど、各地区の夏祭りや秋祭りを完全な形ではありませんが、3年ぶりに開催できたことは活気あふれる「むつ市」の復活を感じる事ができます。

また、長年の懸案事項であった「使用済燃料税」。総務大臣より同意をいただけたことは、近年にない明るいビックニュースです。より住みたい街「むつ市」は、もうそこまで来ています。

(野中 貴健)

むつ市議会の詳しい情報は、「むつ市議会ホームページ」をごらんください。
また、「むつ市議会公式フェイスブック」でも情報をお伝えしていますので、あわせてごらんください。



- | | | | | |
|--|-----|-------|-------|-------|
| | 委員長 | 原田 敏匡 | 副委員長 | 住吉 年広 |
| | 委員 | 杉浦 弘樹 | 野中 貴健 | |
| | | 斉藤 孝昭 | 富岡 直哉 | |
| | | 濱田 栄子 | 佐藤 広政 | |